

2018-19 年度 ガバナー

若林 啓介

〒930-0048 富山県富山市白銀町 2-5

株式会社 若林商店内

TEL (076)482-5584 FAX (076)482-5595

E-mail : wakabayashi2018-19@rotary2610.gr.jp



2018-19 GOVERNOR

KEISUKE WAKABAYASHI

c/o Wakabayashi Paper Sales Co., Ltd.

2-5 Shirogane-cho

Toyama-shi, Toyama-ken 930-0048 Japan

TEL +81-76-482-5584/FAX +81-76-482-5595

E-mail: wakabayashi2018-19@rotary2610.gr.jp

平成 30 年 7 月 20 日

クラブ会長 各位

ガバナー

若林 啓介

RLI 委員会 委員長

柳生 好春

ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)のご案内

拝啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃の熱心なロータリー活動に敬意を表するものです。

さて、今期も前期に引き続きロータリー・リーダーシップ研究会を下記の実施要項により行います。ロータリー・リーダーシップ研究会は 1992 年にアメリカで始まり、2008 年に日本に導入されました。現在では世界の 75% の地区に採用され、日本でも 34 地区中 21 地区に採用されており 5 地区が検討中です。その目的とするところは偏に会員のリーダーシップの涵養を通してクラブの充実と活性化に資することです。

研修は 1 チーム 7、8 人で構成(凹の字型)されディスカッション中心で行われます。様々なロータリーの重要テーマ(テキスト有)について自由闊達に意見交換を行うことで気づきが得られるものです。前期はパート 1~3・卒コースまでのべ 200 人を超える参加があり、他クラブの奉仕活動などの状況が分かり有益だった、知り合いが増えて良かったとの感想が多く聞かれました。

今期のガバナーは「ロータリーを知ろう、知ってもらおう」の方針を出し、ロータリー・リーダーシップ研究会はまさにこの方針に沿うものです。

「人に物を教えることはできない。自ら気づく手助けができるだけだ。」(「人を動かす」デール・カーネギー著に引用のガリレオの言葉)という箴言があります。

ぜひ、この機会にクラブから有意の人材を送り出して頂けますよう、ご高配を賜りたく存じます。

敬具

ロータリー・リーダーシップ研究会(パート I)実施要項

日 時 : 2018年8月25日(土) 9:30 ~ 17:00 (※受付開始 9:00)
場 所 : 石川県地場産業振興センター 本館
〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地 Tel:076-268-2010



会 費 : 各回 4,000 円(テキスト代・昼食代・飲物代含む)
※ 当日現地にてお支払いとなります

対 象 : クラブ会長・会長エレクト・幹事等の指導者並びに
ロータリーを学びたい会員

定 員 : 60 名 (受付順として定員数に達した時点で締切りと致します)

形 式 : 少人数 (10 名以内) でディスカッションを 50 分間×6 セッション行う

参加締切り : **8月7日(火)迄**

次回予定日 : パートII : 11月3日(土) パートIII : 12月2日(日)
※ 地区ホームページと日本支部ホームページに掲載中

キャンセル : 参加取り消しの方法につきましては、
下記ガバナー事務所へのメールでの事前受理のみとさせていただきます。
第 2610 地区 2018-19 年度ガバナー事務所
Eメール送信先 : wakabayashi2018-19@rotary2610.gr.jp
また、キャンセル締切りは各パート開催 3 日前までとなります。
(パート I は **8月22日(水)迄**)

パート I セッションカリキュラム内容について

パート I（6セッション時限あり）のカリキュラムのテーマは次の通りです。

回	テーマと目標
1	【リーダーシップの本質をつかむ】 目標：リーダーシップの特性を探求する。 ボランティア団体においてモチベーションの高め方を議論する。 あなた自身のリーダーシップのスタイルを考察する。
2	【私のロータリー世界】 目標：ロータリーの目的について議論する。 ロータリーの組織構造について理解する。 ロータリーの組織は、ロータリアンとしての私をどのように支援してくれているかを述べる。
3	【倫理と職業奉仕】 目標：「ロータリーの指導原則」がいかに関私の職業を力強くさせるのか。 ロータリアンは、地域社会や職業さらには人生のあらゆる場において、四つのテストをいかに推進できるであろうか。私の職業の中で、ロータリーとロータリーの理念をいかに高めていくか。 どのようにしてロータリーに対して、私の職業を役立たせるのか。
4	【財団 I 私たちの財団】 目標：ロータリー財団（TRF）の基本的目標、プログラム、および資金調達について理解する。クラブにとってのロータリー財団の重要性と価値について議論する。各ロータリアンが TRF へ寄付をする必要性について。
5	【会員を引き込む】 目標：クラブ会員をロータリー活動に引き込むことの価値と方法（選択肢）を探る。
6	【奉仕プロジェクトを創造する】 目標：あなたのクラブの奉仕プロジェクトを見極め、立案し、組織し、要件を満たし、実行することを学ぶ。奉仕プロジェクトのための事業計画を開発する。奉仕プロジェクトの成功を評価する方法を学ぶ。

参加申込書

下記宛に申込頂きますよう、お願いいたします。

Eメール送信先：wakabayashi2018-19@rotary2610.gr.jp

[受付＝ 第 2610 地区 2018-19 年度ガバナー事務所]

申込日	平成 30 年 ___ 月 ___ 日		
申込クラブ	_____ ロータリークラブ		
参加者数	RLI パート I (8 月 25 日) に下記会員 _____ 名が参加します。		
初めて RLI パート I に参加する会員			
氏名		ふりがな	
ローマ字表記 (修了書用)		主な経験委員会と 役職	
職業分類		在籍年数	
連絡先 mail		携帯電話	
氏名		ふりがな	
ローマ字表記 (修了書用)		主な経験委員会と 役職	
職業分類		在籍年数	
連絡先 mail		携帯電話	
昨年度 RLI パート II と III に参加してパート I に参加されていない会員			
氏名		ふりがな	
ローマ字表記 (修了書用)		主な経験委員会と 役職	
職業分類		在籍年数	
連絡先 mail		携帯電話	
氏名		ふりがな	
ローマ字表記 (修了書用)		主な経験委員会と 役職	
職業分類		在籍年数	
連絡先 mail		携帯電話	

※ 参加者の皆様に研修プログラム内容をお伝えする為にも、このご案内 3 枚目に記載がある

「パート I セッションカリキュラム内容について」をコピーしてお渡してください。

※ 研究会について不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。

国際ロータリー第 2610 地区 RLI 委員会副委員長 (富山大手町 RC) 里見安那

Email : info@litashine.co.jp

以上